

スペシャルオリンピックス(SO)とは、知的障害のある人たちに、日々のトレーニングと競技会を通じて、自立と社会参加をサポートする国際的なスポーツ組織です。SOでは、これらのスポーツ活動に参加する知的障害のある人たちをアスリートと呼び、多くのボランティアやアスリートのファミリーが一緒になって活動を支えています。SOの活動は、すべて非営利活動で、運営はボランティアの方々の積極的な意思と、善意の寄付によって進められています。現在、世界170国以上で370万人のアスリートと85万人以上のボランティアが日常的なスポーツ・トレーニングに楽しく参加しています。競技会は地区レベルから世界レベルまであり、世界大会は夏季・冬季共に4年毎に開かれています。国内でも全ての都道府県に普及していて、富山では現在、約130名のアスリート会員が10種の競技種目に取り組んでいます。



サマーキャンプに参加したアスリート、ボランティア、コーチのみなさん

■今季のエッセイ

アスリートたちに感謝

SOに参加したきっかけ、それは3年前子供がにいかわ総合支援学校中等部に入学し、スポーツを通じて学校以外の場で多くの人と関わりを持たせたいと思っていたときに、SOのチラシを見かけたことでした。これを機に2011年冬のアルペンスキーから参加させて頂き、2012年春にはバスケットボールにも挑戦。実は初めての出会いは2005年2月に遡りますが、毎年恒例のスキー競技会に参加のため長野県野沢温泉に滞在中に、いつになく沢山の外国人と『スペシャルオリンピックス 冬季世界大会 長野』の横断幕を見かけたことに始まります。しかしこの時は参加にまでは至らず、今にして思うと後悔の極みであります。

さて、SOの活動に参加させて頂き、まだまだ日も浅い私ですが、様々なことを思い、考えさせられる場面に遭遇しました。「頑張るって、優しさって、どういうことだろう?」「今まで感ずることの無かった、楽しい、居心地の良さは、どうしてなのだろう?」

アスリートたちが一生懸命になるとき、その周りには支えているボランティアやファミリーがいて、アスリートたちの明るさ、優しさ、頑張り、喜びが、支えている人に返ってくる。人として認め合い、支え合い、そして喜びを分かち合う、そうした本来の人と人との関わりが当たり前にあるからではないでしょうか。今年2月に開催された冬季世界大会

ファミリー副委員長 大角 浩樹

に富山から出場したアスリートが、表彰台でメダルを胸に輝かせている姿に大変感銘を受けました。彼らの姿に我が子の姿を重ねられたファミリーも少なからずおられたかと思いますが、この活躍は富山のアスリートやファミリーに計り知れない大きな勇気と希望、そして世界への可能性という夢を与えてくれました。

純粋で不器用なアスリートたちをボランティアとファミリーが強い信頼と絆で支え合いながら喜びを共有し合うことが出来る。この殺伐とした世の中にあって、そんな理想のコミュニティが、SOにはごく普通に存在している。その居心地の良さがSOの大きな魅力の一つだと思います。

昨年、SON名誉会長 細川佳代子さんの講演会に参加させて頂いた際に「神様からの贈り物」という言葉が強く印象に残っています。普段は表情の少ないアスリートたちが笑顔をこぼし、心を震わせる瞬間に出会ったとき、少しオーバーな表現ですが幸せな気持ちに満たされます。そんなアスリートたちこそ、まさに「神様からの贈り物」と言えるのではないのでしょうか。

我が子を通してSOと出会い、参加させて頂き、たくさんのことを学び、そして考えさせられ、全ての人間には一人ひとり役目があって、意味があって生まれてきたことに気付かされました。そんなアスリートたちに感謝したいと思います。

■サマーキャンプを振り返って

6/29(土)～30(日)、呉羽青少年自然の家にて「SON・富山サマーキャンプ 2013」を開催しました。SON・富山初の宿泊を伴うイベントということで、企画運営を担当した私たちノンスポーツプログラム委員もハラハラドキドキという心境で当日を迎えましたが、アスリート 34名・コーチ 25名・ファミリー 16名の総勢 75名のみなさんにご参加いただき、盛会のうちに終えることができました。

このイベントでは「スポーツプログラム活動紹介!」と「歌って踊ろう♪」の2つのレクリエーションを主な企画として盛り込みました。その際に見られたアスリートの姿からは仲間たちと過ごす時間を心から楽しんでいることが感じられ、また、そんな姿にコーチのみなさんや私たちスタッフも元気をもらいました。

夕食や入浴、就寝といった生活場面では、アスリート一人ひとりがファミリーと離れ、普段と異なる環境のなかで、一生懸命にがんばろうとしている姿が印象的でした。また、年長のアスリートが他のアスリートに手を貸したりコーチの指示を仰ぎにいたり、自分で考え動くようとしている様子も見られ、その逞しい一面にハッとさせられる場面も多々ありました。

■ボランティアの感想

サマーキャンプを通して

今回サマーキャンプにコーチとして参加させていただきました。普段のプログラムには何度も参加していますが、二日通してコーチを務めるのは初めてだったので不安なところもありました。でも、一人一人が協力してご飯の準備をしたり、レクリエーションでプログラムを元気に紹介したりと、今回のキャンプを通してアスリートもコーチもみんなでわいわい楽しく過ごすことができましたと思います。自分自身、プログラムとはまた違った経験ができてよかったです。

SOのボランティアに参加して

初めてスペシャルオリンピックの活動に参加するのですごく緊張しました。しかし、時間が経つにつれて、私たちもアスリートと打ち解け、仲良くなることができました。他のコーチに助けってもらったり、1人のアスリートに付きっきりになってしまったりしたことなど、思い通りにならなかったこともたくさんありました。それでも、アドバイスをいただいたとおり、アスリートのペースに合わせて動いたりお話しをしてみると、少しずつですがうまくいくようになりまし

ノンスポーツプログラム委員長 高緑 千苗

今回、アスリートやファミリーのみなさんにとっては「仲間と協力して楽しくキャンプをやり遂げたという経験を通して宿泊に対する自信やポジティブなイメージをもつこと」、ボランティアさんにとっては「参加者との交流を通してSON・富山をより一層盛り上げたいという思いをもっていただくこと」、ひいては「SON・富山のメンバーが大会参加への意欲を高めるきっかけとなること」を目指して計画を進めてまいりました。その目標がどの程度達成されたのかということを知ることができませんが、一人でも多くのアスリートにとっての自信やSOの楽しさのきっかけとなれたなら、ご参加くださったボランティアのみなさんにSOの魅力を少しでも伝えることができたなら、それほど嬉しいことはありません。

このようなイベントは、準備段階からご協力くださったファミリー委員会をはじめとするファミリーのみなさま、企画を盛り上げてくださったアスリート委員会・コーチのみなさま、そのほか多くの方のみなさまのお力添えがあってこそ、実現できたものです。そしてなにより、たくさんの笑顔と勇気を見せてくれたアスリートの方々に、感謝の言葉を伝えたいです。本当にありがとうございました。

中川 洋志さん

キャンプが終わったあとはみんなでバーベキューをしました。最初に焼く係をしていましたが、みんなお腹が空いていたのか焼いても焼いても一瞬で食べきって大変でした。ファミリーの方にも手伝ってもらって、焼きつつ食べつつを繰り返してました。とてもおいしかったです。

初めての経験で不慣れな所もありましたが、楽しい二日間を過ごせたので、また参加したいなと思います。

上野 真実さん

2日目にはアスリートから話しかけてきてくれて、本当に嬉しかったです。

最後には、一緒に踊ったりアスリートからメダルをもらったり、また写真を撮ったりと盛り上がることができました。辛いこともありましたが、この経験は私たちにとって嬉しい思い出となりました。経験者やスポーツプログラムに参加しているボランティアさんからもお話を聞くことができ、大変貴重な経験になったと思います。



まずは各班で自己紹介タイムです



いただきます



各プログラムのプレゼンの様子

■BBQ

6月30日(日)、前日のサマーキャンプに引き続き、呉羽青少年自然の家でバーベキューが開催されました。サマーキャンプから引き続き参加のボランティアも多く、例年以上に盛り上がりました。



みんなで協力して準備をします



さあよいよバーベキュー開始です！



最後はみんなでレクリエーション

■アスリート取材企画 オンリーワンアスリート No.2

今回で2回目になったアスリート委員によるアスリート取材企画「オンリーワンアスリート」今号からはアスリート委員が記事を作成しました。

アスリート取材企画

オンリーワンアスリート No.2

〈バスケットボールアスリート紹介〉

幾島美咲さん

17才

競技歴 1年

〈インタビュー〉

1. バスケットボールのどんなところが楽しいですか？

ボールを追いかけてシュートすること。

2. バスケットボールで、次の目標はどんなことですか？

シュートをいっぱい決めること

3. SOで1番の思い出は、どんなことですか？

初めてシュートが決まった時

4. SOでチャレンジしてみたいことはありますか？

水泳とか。

5. 記事を読みたい人がいると思います！楽しんでますか？

楽しんでます



取材 中山 岩白
記事 杉森
アスリート委員会 中山 岩白 戸田 長久 杉森

■プログラム紹介

●卓球

今季から卓球プログラムは、射水会場と高岡会場の二会場で行われることになりました。高岡会場は新しい体育館でとても快適です。



6月8日、射水会場第1回が射水市小杉体育館で行われました。



高岡会場での集合写真！

●水泳

新しいアスリートも加わり 32 名の大所帯となった水泳プログラム、今回も高岡市水泳協会様のご協力により高岡市営長慶寺室内プールで行われています。



壁につかまってブクブクパツ、水に慣れよう



息継ぎの練習です



ビートバンで 25mキックのコースです

●ボウリング

すっかり暑くなりましたが、ボウリングプログラムは今年もクアトロブーム小杉を会場に元気に進んでいます。



みんなで楽しく準備運動



今日の調子はどうかな？



みんな仲良く、応援しています

●陸上

7月20日（土）高岡市城光寺陸上競技場にて、三回目のトレーニングが行われました。隣の城光寺野球場では夏の高校野球の富山地区予選が行われており、にぎやかな応援の音が聞こえていました。



準備運動です



走り幅跳びです



前回のタイムより速く走りたい

●バスケットボール

富山会場に加えて、今年から滑川会場でもプログラムが始まりました。滑川会場では会場のすぐ近くにある富山医療福祉専門学校先生と生徒の皆さんがボランティアとして参加してくださいました。



ボールの持ち方、投げ方の基本を習います



敵も味方もみーんなで、ひとつのボールを追いかけます

●テニス

6月2日（日）、今年も不二越体育館でテニスプログラムが始まりました。



まずはラケット使いの練習です



アスリート同士で練習です



今年の参加メンバーです

●サッカー

6月7日（金）大島中央公園コミュニティグラウンドでサッカープログラムが始まりました。



準備運動からしっかりとします



グループに分かれてゴールまでドリブル



練習後はとんぼがけです

支援自販機の設置にご協力ください

SON・富山では支援自販機の設置を進めております。これは、自販機で飲料を購入すると、北陸コカ・コーラボトリング（株）様を通じて SON・富山に売上の一部を活動費として賛助頂くものです。富山では 10 台の設置を当面の目標として取り組んでおり、昨年 3 月に第一号となる支援自販機を射水市に設置いたしました。

支援自販機は、活動資金のみでなく、広く一般の方に SO の活動について知って頂く宣伝ツールにもなっています。

みなさまのご近所やお勤め先などで、支援自販機の設置にご協力頂ける方がおられましたら、是非事務局までご連絡下さい。



■ボランティア紹介

卓球プログラムに参加して

卓球射水でサブヘッドコーチをしている岡田励（おかだ つとむ）と申します。まだ、卓球のプログラムに約1年しか参加していませんが、その一年を簡単に振り返ってみようと思います。

プログラムへ参加した当初は、アスリートの理解が不足していたこともあり、コミュニケーションがうまく取れなかったことを覚えています。また自分がどこまで卓球を教えられるのかと不安もありました。しかし、みんなの卓球をしているときの笑顔が、その不安を消していってくれました。いまでは、アスリートと一緒に自分も卓球を楽しんでいます。

さらにプログラムの回数を重ねるごとにアスリート一人ひとりに個性があり、一人一人に合わせた教え方が必要であると感じ、考えるようになってきました。この考えをうまくプログラムに取り入れ、みんながいかに競技に集中でき、楽しんで卓球が上達できるよう

に自分も努力していきます。まだ、皆さんから見て、拙いコーチではありますが、ビシビシとヘッドコーチになれるように鍛えてやってください。

最後に自分のことになりませんが、卓球のプログラムに参加したことをきっかけに、大学以来していなかった卓球を今年から本格的に始めることになり、以前よりも充実した日々を送っています。SOへの参加が、自分の中での転機になったのではないのかと感じています。これから、卓球のプログラム以外のイベントにも顔を出せる時は出していきたいと考えていますので、よろしくお願いします。



岡田 励

つながり

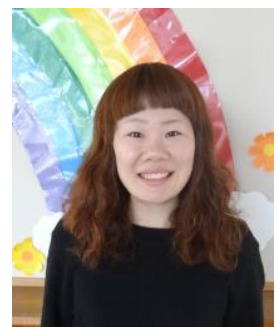
「スペシャルオリンピックス」という名前は聞いたことがあったものの、活動に参加したのは今年が初めてです。また、何もわからない中で、滑川にバスケットのプログラムを新設することになり、多くの方々に助けをいただきながら活動をスタートしました。まだまだわからないこともあります。一つ一つ教えていただきながら楽しく行っています。

私は、障がい者の方々、その家族とともに「まどかの会」という団体で、よさこいや蝶穴を練習し、地域のイベントや施設で発表しています。ご縁があって、今のメンバーとも出会うことができ、そこからSOもつながりました。

私のSOでの活動は、始まったばかりの活動ですが、毎回、活動時間はあっという間に過ぎて、気づくと白熱したゲームの時間になっています。毎回、アスリートやボランティアの皆さん一人ひとりの表情が時間がたつにつれて、いきいきとしていて、とても充実した時間を過ごしているな…と感じます。真剣な表情、「やった！」という笑顔！、「くやしいなー」と顔を下にむけたり…普段の表情とはまた違って、楽しいだ

けでなく、充実感や達成感を感じられる姿に、私も自然と笑顔になったり拍手をしたりとすごくうれしい気持ちになります。私は、バスケットについては詳しくありませんが、スポーツを通して、人と人の交流が生まれたり、仲間意識ができ、楽しく活動する時間が自然にできているのではないかと感じました。

アスリート一人ひとりが、楽しい時間のなかで、役割を見つけ、がんばる姿に私自身も元気ももらっています！！このような活動を通して、「次いつある？」「今日も楽しかったー！」「今日はOOがんばった！」「OOちゃん、前よりうまくなったよねー！」という話が常に飛び交い、練習が終わったあとはしばらく話が絶えません。これからも、SOの活動を通して、多くの人と出会い、一緒に楽しみながら活動をさせていただきたいと思います。



小栗 悠

■支援学校説明会

SOの活動に参加していないアスリートやファミリーにSOの魅力を知ってもらおうと、支援学校での体験会を開催しました。5月18日にはとなみ総合支援学校でフロアホッケーの、6月15日にはいかわ総合支援学校でバスケットボールの体験会を開催しました。

となみ総合支援学校の体験会では、フロアホッケーに初めて接するアスリートもたくさんいましたが、パ

ックの運び方やスティックの扱い方などをコーチと一緒に練習して、最後にはチームに分かれてゲームを行いました。

にいかわ総合支援学校の体験会には、普段バスケットボールプログラムに参加しているアスリートも加わって、パスやドリブルを披露してくれました。こちらの体験会も、最後には全員でゲームを行いました。

今後も支援学校を中心に体験会を開催予定です。

■コーチクリニック

5月12日(日)不二越体育館を会場に今年1回目のコーチクリニックが開催されました。午前中はSON・愛知の八塚トレーナーからゼネラルオリエンテーション(GO)とアスリート理解の講義を行って頂きました。午後からはSON・徳島の田所トレーナーからバスケットボールの実技の講義を行って頂きました。滑川会場のスタートにともなって新しいボランティアさんにも多数ご参加いただきました。

7月21日(日)には富山市障害者福祉プラザで日本初開催となるヤングアスリートプログラムのコーチクリニックが開催されました。ヤングアスリートプログラムとは、2歳~7歳のアスリートを対象

にしたプログラムです。今回はSONから園部トレーナーをお招きしました。また、午後からはデモンストレーションも開催されました。



ヤングアスリートプログラムデモンストレーションの様子

■賛助者紹介(株式会社梅かま様)

今回ご紹介させて頂くのは、株式会社梅かま様です。富山の食文化に欠かすことの出来ない老舗蒲鉾メーカーです。

富山の蒲鉾は全国的に非常に珍しい特徴があります。渦巻き型の蒲鉾は全国でも珍しく、板に乗っていないのが一つの特徴です。また細工蒲鉾は古くからお祝いの席に欠かせないものとなっています。そんな蒲鉾の歴史は古く神功皇后の時代にまでさかのぼるといわれています。また、文献に初めて登場したのが永久3年(1115年)であることから、11月15日は「かまぼこの日」となっています。

そんな歴史ある蒲鉾のメーカーの梅かまさんもまた長い歴史を持っています。昭和17年設立の富山蒲鉾製造販売所が前身となって、昭和20年に設立登記。平成20年1月に現在の社名となりました。伝統ある蒲鉾のほかにも、米とスリミでできたDeli Rice Barや、自社生産で独特の匂いの無い魚醤、昆布から作られた化粧品LIFTY、そして噛む力の弱い人でも味わえる介護食メルティなど、自社の強みを

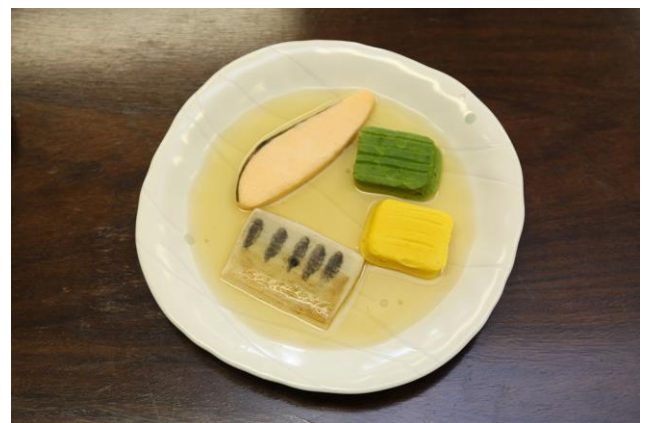
生かした商品を多数製造しています。

このメルティは、溶けるような触感と、本物の素材の味と舌触り、そして見た目もこだわった本格派。なによりも無添加なので、小さなお子さんの離乳食としてもお楽しみいただけます。

工場に隣接したかまぼこミュージアム「U-me i(ゆめい)館」では、そんな蒲鉾の文化や歴史に触れるだけでなく、実際に細工蒲鉾の製造工程を見学することもできます。また、かまぼこの直売も行っており、富山の蒲鉾の魅力を存分に味わうことができます。また蒲鉾作り体験(10名以上で要予約・費用別途)のコーナーもあります。ご家族で、お友達同士で足を運んでみてはいかがでしょうか。



かまぼこの歴史や作り方を学べるU-me i館



同社が開発した介護食メルティ 見た目も味もそっくり

株式会社梅かま (U-me i 館)

939-3552 富山県富山市水橋肘崎 482-8

TEL : 076-479-1850

HP : <http://www.umekama.co.jp/>

■事務局から

まだまだ厳しい残暑が続いています。体調はいかがですか。この暑さも9月まで。あと少しです。

さて、今年も無事に夏季プログラムがスタートしました。新しい会場が増えたのに伴って、新しいアスリートやボランティアも多く加わり、SOの輪がより一層大きくなったことを実感しました。

6月にはSON・富山初の自立支援キャンプを開催し、7月には全国初となるヤングアスリートプログラムのコーチクリニックも開催し、どんどんと新しい取り

組みもスタートしています。

そんな2013年度はSON・富山で恒例となっていたトーチランが開催されない年でもあります。今年はその代わりとして9月にチャリティゴルフ大会の開催を予定しています（エントリーは締切済）

また、11月には東京でナショナルミーティングの開催も予定されており、詳細が分かり次第皆さんに内容をお知らせしたいと考えています。

<賛助金・寄付金をお寄せ下さった皆様(2013年4月1日~7月20日)>

敬称略

柴田 和彦				五本 幸正		
村上 和久	幾島 敦子	笹井 隆康	中野 裕子	福島 志美子	道下 和美	両角 良子
新出 浪子	石塚 久美子	澤田 守弘	長谷部 裕子	前田 万里子	宮下 陸也	
筏井 陽子	大角 拓海	高広 阿左代	八講 光宏	松木 紘二	宮下 洋子	
五十嵐 務	大角 浩樹	田作 京子	八講 理恵	松木 峯子	村中 大治	
幾島 浩	岡部 敬	中井 弘之	福島 茂次	松田 智至	山崎 政行	
(株)梅かま		小栗小児科医院		けやき苑		
くぼ小児科クリニック				(株)藤井産業		

賛助金・寄付金振込先
 スペシャルオリンピックス日本・富山
 (日本は、「ニッポン」としてください)
 北陸銀行本店(店番101)、普通口座 5308370
 ゆうちょ銀行 00720-0=38833

賛助金
 <個人> -口 3,000円
 <企業・団体> -口 10,000円

ありがとうございました。

※お問い合わせは、SON・富山事務局あてメールもしくはファックスをお願いします。

<正会員に登録頂いた皆様(2013年4月1日~7月20日)>

敬称略

幾島 浩	尾塩 真子	河内 隆博	杉田 雄作	花木 典子	水内 豊和
幾島 敦子	尾塩 孝史	笹井 隆康	杉田 智春	廣田 めぐみ	村上 和久
石金 一洋	下条 由季子	笹井 美保	戸田 武宏	福田 恵	室谷 弘子
石金 佳奈子	下条 竜一	姿 真紀	八講 光宏	朴木 和典	山本 憲文
小川 俊弘	河内 久美子	姿 哲也	八講 理恵	朴木 智子	山本 美和子

未来の地球を支える子供たちへ...



Kids'ISO14000プログラム

Kids'ISO14000プログラムは、家庭の身近な省エネ活動を通じ、自ら進んで環境保全活動に取り組める子供達を育成することが狙いです。

私たち富士ゼロックス北陸は、この趣旨に賛同し、近地域の小学校におけるプログラム実施をサポートしています。



富士ゼロックス北陸株式会社
 富山事業所/富山市新桜町5-3
 TEL: 076-431-2121
 本社/石川県金沢市中橋町11-18
 TEL: 076-260-0900

富士ゼロックス北陸株式会社は、スペシャルオリンピックス日本・富山の活動を応援しています。

TOYAMA
G GROUSES

熱い冬がやってくる!!

2013年10月12日(土)
 富山県総合体育センター
 VS 埼玉ブロンコス
 開幕戦!!